

2025 年 8 月 8 日

令和 7 年度 第 2 回応用物理学会北海道支部役員会 議事録

日時: 2025 年 8 月 5 日(火) 14:45-15:30

場所: オンライン

参加者(順不同, 敬称略):

森田 隆二(支部長), 小田 久哉(千歳幹事), 江上 喜幸(庶務幹事), 鍛冶 怜奈(庶務幹事), 柏本 史郎(庶務幹事), 橋谷田 俊(会計幹事), 戸田 泰則(支部評議員), 植村 哲也(支部評議員), グエン タン ソン(釧路幹事), 平 智幸(旭川幹事), 佐藤 勉(室蘭幹事), 佐藤 勝(北見幹事), 松原 英一(人材育成幹事), 柳谷 俊一(函館幹事) 以上 14 名

欠席者(敬称略):

石川 史太郎(会計監査), 石島 歩(会計幹事), 篁 耕司(人材育成幹事) 以上 3 名

事務局: 惣伊田 ゆり

議事録作成者: 鍛冶 怜奈(庶務幹事)

議題:

● 議題 1. 第 61 回北海道支部学術講演会について (資料 1-1)

- 江上庶務幹事より, 第 61 回北海道支部学術講演会における施設・付属品利用料金の変更に関する説明があった.
 - ◇ 昨年度までは, 北海道大学工学部との共催の場合は施設利用料が免除されたが, 2025 年 4 月以降, 工学部の規約改正に伴い, 『「本研究院等の女子学生増加策に直接関連する事業であると本研究院長が認めた事業」のみ施設使用料を免除する』 ことになった. そのため, ¥363,200 の施設利用料が発生する見込みである.
- 柏本庶務幹事より, 女子中高生を対象としたイベント「女子中高生のための理系な未来選択交流会(案)」を企画していることが説明された. 第 61 回北海道支部学術講演会での試行に向けて準備を進めることが承認された.
 - ◇ 単なる進学イベントではなく, 学会発表の聴講や, ロールモデルとなる女性研究者との交流を通して, 女子中高生が理系進学を自身の選択肢として前向きに捉えるきっかけとなることを目指す.
 - ◇ 主な内容は, 女子中高生(場合によっては保護者も含む)と女性研究者・大学生のフリートーク, および講演会場の見学. 企画書を作成して, 役員に意見を募る.

● 議題 2. 2026 年度事業計画および予算案策定 (資料 2-1, 2-2)

- 江上庶務幹事より, 2026 年度事業計画および予算案について説明があり, 承認された.
- ◇ 事業計画 I. 特記事項について:
 - 「A) 継続」として, 学生旅費支援事業を 2026 年度も同じ予算規模で実施予定.
 - 「B) 改変」として, 支部学術講演会におけるジュニアセッションコンテストの予算変更 (応用物理学会学術・教育奨励基金 → 支部予算) を記載.
 - 「C) 改変」として, 教諭向け理科教育支援事業 (北見工業大学) を記載.
- ◇ 事業計画 II. 実施事項として 6 項目を記載. 金額は例年の使用実績から策定.
- ◇ 事業計画 III. 次年度以降の特記事項として, 「女子中高生のための理系な未来選択交流会 (案)」を記載.
- ◇ 予算案に関する 2025 年度からの主な変更点は以下の 3 点:
 1. 学術講演会事業で他事業受入収益 (学術・教育奨励基金からの支援金) は「なし」,
 2. リフレッシュ理科教室における他事業受入収益 (リフレッシュ理科教室補助金) は会場数が減るため減額見込み,
 3. リフレッシュ理科教室 (北大会場) の賃借料が北大工学部との共催により免除される.
- ◇ 森田支部長より, 流動資産 (残金) が経常費用の 50% から 150% に収めることが本部理事会で勧められていることが説明された. 今後は, 支出を減らす努力をしつつ, 収入増加に向けて支部学術講演会の参加費増額などを検討する必要がある.

● 議題 3. その他

- 特になし

報告事項:

● 報告事項 1. 応用物理学学術・教育奨励基金について

- 江上庶務幹事より, 応用物理学学術・教育奨励基金, および応用物理学将来基金への募集について報告があった.
- ◇ 学術・教育奨励基金について, 2025 年 5 月末に篁人材育成幹事より応募がなされ, 最大で 10 万円の補助が承認された. 今年度のジュニアセッション開催費用に充てることが説明された.
- ◇ 「女子中高生のための理系な未来選択交流会 (案)」に関して, 学術・教育奨励基金, もしくは将来基金への申請を検討中.
- ◇ 基金について, 申請事業があれば森田支部長に連絡するよう周知された.

● 報告事項 2. 2026 年度リフレッシュ理科教室の申請について (資料 3-1, 3-2)

- 2026 年度リフレッシュ理科教室への申請状況について, 江上庶務幹事より報告された.
- ◇ 北海道科学大学・北海道大学・旭川工業高等専門学校の 3 会場で申請. 各会場の担当者が申請概要と申請書を確認しており, 申請概要は提出済み. 申請書は 9 月 24 日提出締め切り.

- 報告事項 3. 旅費支援事業の実施状況について
 - 江上庶務幹事から、秋季学術講演会と SSDM2025 に対する旅費支援事業に、秋季学術講演会:19 件, SSDM2025:1 件の申請があり, すべて採択されたと報告があった。
- 報告事項 4. 応用物理学会北海道支部発表奨励賞細則規程の改正について
 - 本部総務委員会での承認を得て, 2025 年 6 月 27 日付で, 「応用物理学会北海道支部学術講演会発表奨励賞」へ名称が正式に変更になったことが江上庶務幹事より報告された。
- 報告事項 5. その他
 - 植村支部評議員から, 北海道大学の学生によるスチューデントチャプター設立に向けた動きについて報告された。
 - ◇ 7 月末に本部へ設立申請を済ませており, 10 月の本部理事会で審議される. 2025 年度内での設立を目指し, 活動開始は 2026 年の秋季大会 (北海道大学開催) を予定.
 - ◇ 将来的には, 道内の他大学, 高専にも参加を促す見込み.

以上